

令和 7 年度 もとまちエルモ 事業報告書

1 令和 7 年度の目標に対する事業実施の成果

・HP を開設し、積極的に情報発信を行うことで地域での認知度を高めることができた。
・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、各種事業を開催し、新たなにぎわいづくりの場を創出することができた。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用した事業

1 事業名	盆踊り大会	(4) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 8 月 10 日	
(2) 実施場所	基町地区内	
(3) 参加者数	50 人	
(4) 主催団体	団体名 基町地区社会福祉協議会 もとまちエルモ	
4 取組内容	基町地区三大行事のひとつである盆踊り大会について、今年度はもとまちエルモの事業のひとつに位置づけ、お手伝いの呼びかけや行事の広報活動を行い、行事で使用する老朽化した設備を一新するなどして、地域行事の継承と活性化を行った。 (先日準備、当日、また予備日まで雨天中止となり盆踊りはできませんでした。)	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	多文化の住民の方々との交流を図る場としてまた、住民同士の連携、関係作りの一環として行う。やぐら、露店等の電気配線の老朽化による漏電等の事故防止のため設備の取り換えを行う。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	盆踊りは実施できなかったものの、行事に向けた話合いや準備作業の中で団体間の連携が図れたほか、住民間の交流にもつながった。 設備については計画通り一新することができたほか、連携団体の協力を得てやぐらのデザインもリニューアルし、次年度の実施に向けた環境を整えることができた。	

1 事業名	敬老会	(4) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 9 月 14 日	
(2) 実施場所	基町小学校体育館	
(3) 参加者数	300 人	
(4) 主催団体	団体名 基町地区社会福祉協議会 もとまちエルモ	
4 取組内容	基町地区三大行事の一つ「敬老会」を今年度はもとまちエルモの事業のひとつに位置づけ、地域の長寿者をお招きし、お弁当をふるまい、敬老会のお祝いを行った。また、特例入居者の若い世代、外国籍の方々と共に準備・作業し、地域行事の継承と世代間の交流、新たな担い手の確保を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	高齢者の方々に、地域行事に出席していただき若き日のお話をしていただき、楽しい時を過ごしていただく。 多くの高齢者の方々を抱える基町地区において、年を重ねても何ができること、楽しみやりがいを見つけていただく場にしていただく。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	地域の方が多く集まっていただき、多くの笑顔が溢れることで心の健康と体の健康が図れ また、基町小学校の児童に歌に若き頃の自分を思い出しながら、皆さん喜んでおられた。 地域の若者と関わることで、自分たちの経験を伝えていただき、コミュニケーションがはかれた。	

1 事業名	防災イベント	(4) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 3 月 1 日	
(2) 実施場所	基町小学校	
(3) 参加者数	60 人	
(4) 主催団体	団体名 基町地区自主防災会連合会 もとまちエルモ	
4 取組内容	前年度防災士を取得された 4 名の方と、各自治会の自主防災担当の方々との協力のうへ、市の担当課の職員、県消防保安課の職員を講師として呼び出して防災についての講習、AED、簡易トイレ、段ボールベッド、起震車の体験を実施した。このイベントを通して高い確率で来るとされる「南海トラフ地震」に備えられる知識として体験してもらえらる機会とし、「自分の命は自分で守る」ために何をしないといけないか、それが家庭、周りの方々を助けることに繋がる事を学べた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	一般的な防災、特に高層アパートでの防災についての知識習得を行うことで「自分の命は自分で守る」ことを学び、地域住民の防災意識を高める。 「南海トラフ地震」を想定して基町ならではの対策を学び、地域住民とのつながりを作ることで、地域の防災組織を見直すことに役立てる。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	住民の方々に防災を身近な事として考えていただくことができ、様々な体験を通じて防災に関する意識啓発につながった。 起震車を体験していただいたことで、揺れる事がどのようなことなのか体験できた。 トイレが使用できなくなる事での日常の生活がとても大変になることが理解してもらえ簡易トイレを常備する意味、段ボールベッドを作る体験により、その利用価値を学べた。 AED を体験したことで、AED の必要性を知り高齢者の方は自分ができなくても周りの方に一時でも早く声掛け、繋げていく事で「命を守る」事につながることを学んだ。	

1 事業名	地域企業との連携事業	(4) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月1日	
(2) 実施場所	基町学区内	
(3) 参加者数	全世帯 3000 世帯	
(4) 主催団体	団体名 もとまちエルモ	
4 取組内容	地域企業との連携を深める目的でチケット販売（LMO を窓口として、基町地住民向けのサンフレッチェのチケットの受け渡し）で地域住民と顔が見える関係作り、幟を基町親善グラウンドゴルフ大会・防災イベントで立てて地域住民に「もとまちエルモ」の認知を図るとともにサンフレッチェ広島、NTT 都市開発との繋がりを地域住民に認知して頂いた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 チケット販売を通して地域住民に「もとまちエルモ」を認知してもらう。 幟をたてることで「もとまちエルモ」を認知してもらうこと、また幟に載せていただいた企業と連携して地域を盛り上げていることを認知してもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） チケット販売を通して以前は電話の注文の方が事務所に来て注文が少しずつ増えてきて、顔合わせての話ができるようになった。 住民の方に様々な事業を通して、「サンフレッチェ広島」「NTT 都市開発」が地域と共に基町の活性化に協力して頂いている事を認知していただけるきっかけとなった。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容